

# 信州共生みらい アイデアコンテスト 2019

募集中

## 福祉 × ○○○○ 若者からの提案

- 超高齢化社会が到来し、福祉・介護産業の重要性はますます高まっており、その市場は成長を続けています。
- 増え続けるニーズに応じていくため、AI、ICT、IOT、Society5.0などの活用や、農林業、デザイン、観光など異業種・異分野とのコラボにより、信州から福祉・介護分野のイノベーションを進めていくことが期待されます。
- そこで、様々な分野で学ぶ学生の皆さんから、各専門分野の知識を活かして福祉・介護の課題解決や困りごとを解決する、信州発の技術やサービス、アイデアを募集します。

**募集内容** 福祉 × ○○○○のコラボにより、福祉・介護の課題解決やイノベーションを進める、信州らしい技術、サービス、ビジネス・モデル、政策アイデア等

**応募対象** 高校、専門学校、高等専門学校、大学、短期大学等の学生チーム

### スケジュール

#### オリエンテーション

- 5月初旬～中旬
- 協力各校で、説明会を行います。
- 内容  
福祉・介護現場の課題、悩みごとを現場職員から説明し、各チームでテーマを選択。

#### チーム検討

- 期間 5月～8月
- ナビゲーター  
各チームの選択テーマにあわせた現場ナビゲーターを配置。  
必要に応じて現場見学等を調整します。

#### 応募締切、審査

- 応募締切  
8月5日(月)
- 第1次審査  
書類審査
- 第2次審査  
プレゼンテーション  
期日 8月下旬  
会場 長野県立図書館  
(長野市内、予定)

#### 県社会福祉大会

- 9月20日(金)  
駒ヶ根市文化センター
- プレゼンテーション  
優秀3チーム
- 表彰式  
長野県教育委員会表彰  
長野県社協会長表彰  
長野県社福経営者協議会長表彰  
他、企業賞予定

**申込締切** 6月10日(月) 別紙「エントリーシート」による

**応募方法等** 裏面参照

応募いただいたアイデアは、福祉介護PR事業企画委員会の協議をふまえて、活用方法を検討します。

- 実施主体 長野県
- 運営 長野県社会福祉協議会
- 協力 信州大学教育学部、国立高等専門学校長野工業高等専門学校  
岡学園トータルデザインアカデミー  
長野県社会福祉法人経営者協議会

コンテスト事務局  
長野県社会福祉協議会／企画グループ内  
☎ 026-228-4244  
fax 026-228-0130  
E-Mail kikaku@nsyakyo.or.jp

# 信州共生みらい アイデアコンテスト 2019 応募方法

## ◆ 応募方法

- (1) オリエンテーション …… 協力各校ごとに、5月上旬～中旬にかけて説明会を実施
- (2) エントリー締切 …… 6月10日（月） 別紙「エントリーシート」による。
- (3) ナビゲーター …… 各チームの選択テーマにあわせて福祉・介護現場に詳しいナビゲーターを派遣します。また、必要に応じて現場見学等の実施を支援、調整します。

## ◆ 作品の作成と提出

- (1) 作品の作成 …… 作品は、PowerPoint で作成したプレゼンテーション資料とし、PowerPoint のページ数は20ページ以内、ファイルの容量は10MB以下としてください。  
詳しくは、別紙「作成要領」を参照してください。
- (2) 提出期限 …… 8月5日（月）までにコンテスト事務局に提出してください。

## ◆ 審査

### (1) 審査基準

- ① 福祉・介護の当事者や現場のニーズを十分に捉えているか
- ② 効果的な課題解決や新しい発想、信州らしさなど、特色ある提案となっているか
- ③ 提案の妥当性について、実験やヒヤリング調査など、妥当性を検証しているか
- ④ 概ね5～10年後を想定して、実現可能な技術やサービス、ビジネスモデル、政策アイデアとなっているか

### (2) 審査員

- 藤原忠彦氏（長野県社会福祉協議会会長）
- 佐藤正雄氏（長野県社会福祉法人経営者協議会会長）
- 小池玲子氏（長野県社会教育委員連絡協議会会長）
- 長野県在宅福祉機器協議会関係者（事務局：株式会社デンセン）
- 福祉を考える企業の会関係者（予定）

### (3) 審査方法

- ① 第1次審査 …… 書類審査を行い、10作品を選考する予定です。
- ② 第2次審査 …… 第1次審査で選考された作品を対象に審査会を実施します。  
1チーム10分以内でプレゼンテーションを行ってください。

期 日 8月下旬

会 場 県立長野図書館3階「信州・学び創造ラボ」（長野市若里1-1-4）

### (4) 賞

- ① 長野県教育委員会賞
- ② 長野県社会福祉協議会会長表彰
- ③ 長野県社会福祉法人経営者協議会会長表彰
- 企業賞（交渉中）

### (5) 長野県社会福祉大会

- ① 期 日 等 …… 9月20日（金）、駒ヶ根市文化センター
- ② 発表と表彰 …… 優秀作品（3作品予定）の発表（各10分間）  
表彰状と副賞（各金3万円）を授与します。
- ③ 応募作品展示 …… 応募作品を印刷して展示します

## ◆ 応募作品の活用

- ① 応募作品の著作権は、応募チームに帰属します。長野県社会福祉協議会は、応募作品をホームページで公表するなど、事業の趣旨に沿って活用できるものとします。
- ② 優秀作品については、福祉介護PR事業企画会議において、プロトタイプの開発やアイデアの試行などを検討し、次年度以降の事業に活かしていきます。
- ③ 応募作品及びチーム検討の過程も含めて、福祉介護人材PR事業の一環として取材し、広報に活用する場合があります。応募者のお名前を公表させていただく場合がありますので、ご了承ください。

## コンテスト事務局

長野県社会福祉協議会／企画グループ内  
☎ 026-228-4244 fax 026-228-0130  
E-Mail kikaku@nsyakyō.or.jp

## 福祉・介護の解決したい課題（例示）

※ 例示をもとに検討課題を決め、ナビゲーターと意見交換を行いながら、具体的なテーマとして絞り込んでください。

| A 福祉当事者ニーズの解決 |                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A-01          | <p><b>（マジックハンドが欲しい）</b><br/>                     車いす利用者などが、落としてしまったもの、高くて手が届かない時、手軽に携帯して使えるマジックハンドがあれば喜ばれます。市販のマジックハンドはかさばりすぎて、携帯しにくいので、折りたたんで携帯し、必要な時に取り出せるものが欲しいです。</p>                                                                   |
| A-02          | <p><b>（車いすのタイヤを拭くのが大変）</b><br/>                     福祉施設の玄関には、畳一畳程度の車いすのタイヤ拭き装置が置かれている場合があります。もっとコンパクトで、手軽に車いすのタイヤをふくことができる器具が求められています。</p>                                                                                                 |
| A-03          | <p><b>（視覚障がい者の方のメイク支援）</b><br/>                     視覚障がい者の方は、外出が苦手。特に女性は、自分でメイクを（確認）することが苦手。視覚障がい者の方が、身だしなみを整える仕組みが求められています。</p>                                                                                                           |
| A-04          | <p><b>（駅のプラットフォームからの転落防止策）</b><br/>                     年間 4,000 人の視覚障がい者の方が線路に落ちる事故があり、多くの場合救出されていますが、危険な状況です。ホームドアは都会では広がりつつありますが、コストの課題があります。センサーで危険を知らせるなど、長野でも実現可能な、転落防止策が望まれます。</p>                                                   |
| A-05          | <p><b>（視覚障がい者の方のための墨字資料読み上げシステム）</b><br/>                     視覚障がい者の方が社会参加するうえで、会議等で配布された資料が読めないことが大きな課題です。点字資料やデータ配布などの方法もありますが、なかなか一般化していません。手元の墨字資料を、カメラとOCRソフト等を組み合わせて読み上げることはできないでしょうか？</p>                                           |
| A-06          | <p><b>（芸術文化活動の拠点づくり）</b><br/>                     障がいのある方々の芸術文化活動は、デザインとして価値や、アール・ブリュットなど現代アートの視点から注目されており、県内でも、障がいをてことして個性あふれる作品を生み出す「作家」を発掘する営みが続いています。<br/>                     長野パラリンピックの歴史をふまえ、障がいのある人たちの芸術文化活動の拠点づくりについて提案してください。</p> |

| B 福祉・介護職場のイノベーション |                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| B-01              | <p><b>（持ち物チェックの仕組み）</b><br/>                     ショートステイなどでは、入所時に入居者の持ち物を確認し退所時に過不足なくあるかどうか確認する業務に時間がかかります。退所時の持ち物紛失トラブルも少なくありません。この持ち物チェックの効率化や確実な管理について技術やアイデアを提案してください。</p>                                         |
| B-02              | <p><b>（身長や体重の測り方）</b><br/>                     高齢者の健康管理の指標において、身長、体重から痩せすぎ、肥満等を割り出しているが、背中が丸まってしまった方や寝たきりで体が拘縮してしまった方の正確な身長測定が困難です。体重は各種体重計が存在するが、身長の測り方が難しく、現在は、メジャーを使った5点測定法で図りますが、やるたびに大きな実測値の違いが出て、不正確で困っています。</p> |
| B-03              | <p><b>（利用者の見守りの仕組みやシステム）</b><br/>                     現在もセンサーマットやカメラ、ロボット等で利用者の見守りをする仕組みはあるが、対</p>                                                                                                                     |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |           |      |           |  |         |      |       |  |       |      |           |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------|------|-----------|--|---------|------|-------|--|-------|------|-----------|
|      | <p>応についてはスタッフが対応しているのが現状。特に夜間は1人で20名以上の利用者をみているため、同時の対応が困難。</p> <p>今までにない新しいかたちで利用者の見守りの仕組みやシステムのアイデアの提案を期待します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |           |      |           |  |         |      |       |  |       |      |           |
| B-04 | <p><b>(とろみの付き具合が測定できるアイデア)</b></p> <p>・誤嚥予防として、水分のとろみを使用しているが、3段階で使用していることが多い</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>例えば</td> <td>薄いとろみ</td> <td>さらさら</td> <td>コップで飲める程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ふつうのとろみ</td> <td>とろとろ</td> <td>はちみつ状</td> </tr> <tr> <td></td> <td>濃いとろみ</td> <td>ぼたぼた</td> <td>ヨーグルト状 など</td> </tr> </table> <p>基準があいまいで、使用するとろみ材や水分の内容によって固まり方が違うため、うまくつくることが難しい。また、感覚は個人差がありとろみの付き具合に差ができてしまう。</p> <p>簡単にとろみの付き具合を3～5段階位で測定できるアイデアを提案してください。</p> | 例えば  | 薄いとろみ     | さらさら | コップで飲める程度 |  | ふつうのとろみ | とろとろ | はちみつ状 |  | 濃いとろみ | ぼたぼた | ヨーグルト状 など |
| 例えば  | 薄いとろみ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | さらさら | コップで飲める程度 |      |           |  |         |      |       |  |       |      |           |
|      | ふつうのとろみ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | とろとろ | はちみつ状     |      |           |  |         |      |       |  |       |      |           |
|      | 濃いとろみ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ぼたぼた | ヨーグルト状 など |      |           |  |         |      |       |  |       |      |           |
| B-05 | <p><b>(食事介助用のエプロンデザイン)</b></p> <p>嚥下障害や機能障害等でたべこぼしをしてしまう方は食事介助用のエプロンを使用しているが、いかにも介護用のデザインであり、外食等で使用する際に使いたくないという方がいます。</p> <p>洋服のデザインと違和感のない食事介助用のエプロンデザインの提案してください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |           |      |           |  |         |      |       |  |       |      |           |
| B-06 | <p><b>(濃い色の衣類へ記名できるアイデアの提案)</b></p> <p>施設では利用者様の衣類を管理するために記名しますが、男性が好む紺や黒の衣類に記名するときには白い布を縫い付けたりしていますが、その作業が大変です。アイロンで貼り付ける名札もありますが、施設の洗濯機で洗濯すると、すぐに剥がれてしまいます。</p> <p>濃い色の衣類に記名できるアイデアを提案してください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |           |      |           |  |         |      |       |  |       |      |           |

|                   |                                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>C 福祉と地域づくり</b> |                                                                                                                                                                                                                  |
| C-01              | <p><b>(地域交通の課題)</b></p> <p>中山間地では、公共交通機関が衰退し、年をとっても免許を返納してしまえば生活できない状況があります。また、中高生などは、通学や土日の買い物などに車に乗れないと生活できない状況に陥っています。</p> <p>中山間地で、日々、車で近隣の市街地まで通勤している人たちが、ボランティアとして協力してくれることを想定して、移動の助け合いの仕組みを提案してください。</p> |
| C-02              | <p><b>(買い物難民対策)</b></p> <p>中山間地では日常生活品を販売する商店が衰退しており、都市部においても郊外の大型ショッピングモールが増える中で、高齢者、障がいのある方等の「買い物難民」が課題となっています。</p> <p>日々、車でスーパー等に通っている近隣住民が、買い物支援ボランティアを行う意志があることを想定して、無理なく続けられる買い物助け合いの仕組みを提案してください。</p>     |
| C-03              | <p><b>(ユニバーサルツーリズム)</b></p> <p>観光立県信州では、今、高齢者や障がいのある方、外国人や子ども連れなど誰もが楽しめるユニバーサルツーリズムの推進に力を入れています。</p> <p>車いすやベビーカーの人が、信州の山や自然を楽しめるような、観光コースづくりや機器の提案、バリアを補う住民参加の仕組みについて、提案してください。</p>                             |
| C-04              | <p><b>(農山村の景観改善)</b></p> <p>アレックス・カー氏は著書「日本風景論」のなかで、日本の山村の景観を称賛しつつ、その景観を台無しにする日本人の意識の低さを批判しています。(例、電線やブルーシートが美しい田園風景を壊している…など)</p> <p>農山村の魅力を磨き、未来に向けて持続可能な地域づくりにつなげるため、農山村の景観改善策を提言してください。</p>                  |